



こんにちは

村田 けい子 です

みなさんのご意見・ご要望をお寄せ下さい。フェイスブックやっています。

移動事務所 090-9144-8534

発行/日本共産党立科町議会議員 村田桂子 立科町塩沢1483 ☎0267(56)2868

2021年
№284



役場職員の出入りに設置された自立式非接触型体温測定器

自立式非接触型体温測定器1台、職員出入りに設置される。権現の湯にも。

12月補正予算で可決された非接触型体温測定器。その前に立つと、「体温は36.2度です」と音声流れます。またマスクをしていないと「マスクをしてください」とも。2階の町民出入り口にはまだ設置されていませんが、設置場所を検討中とのことです。

いよいよ立科町でも感染者が複数出て、川西赤十字病院も医療従事者や患者が患い、病院機能も心配されます。コロナ禍が身近に迫り、医療崩壊の危険性も高まっています。感染経路不明の人も増えて、クラスター周辺では徹底したPCR検査、保護隔離が必要でしょう。

1都3県の緊急事態宣言が発出されましたが、私たちも不要不急の外出を控え、一層の用心が必要です。

飛沫や接触が感染拡大の要因ともいわれていますから、外出から帰ったらうがい、手洗いなど徹底することが必要ですね。

それにしても1都3県では、飲食業など自粛が要請されていますが、収入の補償が一日6万円、月180万円までに引き上げられました。みんなの声が動かししました。

小海町では

住民の希望者のほか、町外にいる扶養者、実家に帰省しようとする住民にも無料でPCR検査が受けられるよう、12月議会で予算が組まれたそうです。立科町でも必要ではないでしょうか。

- ・PCR検査を希望者には無料で。
- ・自営業者にも休業補償を。

また、国民健康保険加入でコロナ感染が確認され仕事ができなくなった町民には、雇われている人(被用者)には、日額の3分の2にあたる傷病手当金が支給されるように決まりましたが、自営業者、一人親方、フリーランスの方には補償がありません。

自治体によっては自営業者にも手当金を支給するよう条例で決めているところもあります。町は「自営業の業態が様々なので」「その分は町の負担となる」として背を向けていますが、住民の安心のため、また同じ国保に加入している人で、補償されない人がいるという不公平をなくすためにも、ぜひ、自営業者・農家の方も対象にするよう要求していきます。



ユーカーリで
正月の輪飾り

今月のパチリ

いただいたユーカーリの枝をぐるりと丸め、そこに、南天と花ナスをあしらって輪飾りを作り、我が家の門に飾りました。

「一日も早くコロナが収束してほしい」、「難を転じてほしい」の思いは、ますます強まっています。

少人数で、間を取って、いつものお仲間でのお付き合いは大丈夫とのこと。

「コロナの巣籠り」で体も心も弱らないように、電話やお手紙、はがきなどでおしゃべりしませんか。元気が湧いてきますよ。

町かどオフィス新設！（元藤屋さん。ウインドウに竹籠が。）

昨年12月7日、ふるさと交流館で芦田宿商店街賑わい創出グループによる芦田宿に新しくオープンしたお店を訪ねるイベントが行われ、商工会長をはじめ、多くの住民が参加しました。

その前に、新しく地域おこし協力隊に応募された永田賢一郎さんが自己紹介。横浜にも事務所を構えて、空き店舗の再生による町の賑わいを取り戻した取り組みを紹介し、「建築を作ることは未来を作ること」のお話に、夢や期待が膨らみました。

建築をつくることは
未来をつくることである

To create architecture
is to create the future

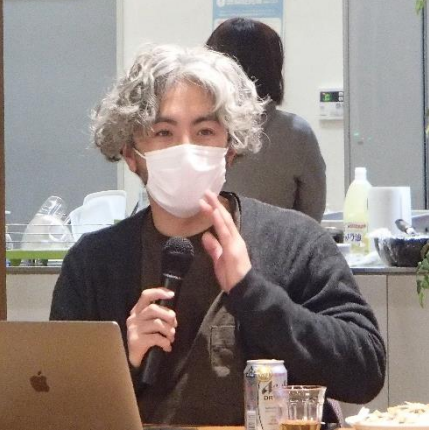
永田さんは、町かどオフィスを拠点に、空き家の活用やリフォーム、子民具の収集や家具の修理・再利用などに取り組み、古いものに新しい息吹を吹き込むそんなお仕事をしています。階段タンスや木の桶、白樺のオブジェ、彫刻の入った丸テーブルなどが置かれ、本物の素材の良さを感じる居心地の良い空間となっています。ぼちぼちと空き家の相談もあるそうです。都会的なセンスを立科に活かして、さらに魅力を引き出してほしいと思います。ぜひのぞいてみてください。週に2、3度はここに、あとはふるさと交流館にいらっしやるそうです。覗いてみてはいかがでしょうか。

「顕微鏡で見る石の世界」1.4 inふるさと交流館

「石屋五無齋&手仕事幸房」主催でのワークショップ（体験会）で、顕微鏡で石の結晶を見ようのイベントが行われました。コロナもあり、積極的なPRはせずに、少ない会員で取り組みましたが、普段見たこともない鉱物の結晶の美しさ、見事さに思わず歓声が上がりました。肉眼で見ればとても小さくてよく見えない結晶も顕微鏡で20倍に拡大すると、そこは別世界。鉱物をあれこれ回し、光の角度を変えてみると次々と美しい結晶の世界が広がります。「今度は子どもたちにも見てほしいよね」「地球の不思議さを感じてほしいな」と思いました。

写真を撮ってお持ち帰り、
また「やりたいね。」

炭酸青針銅鉱
新潟県三川鉱山産出



Workshop Projects Publishing News Admissions

